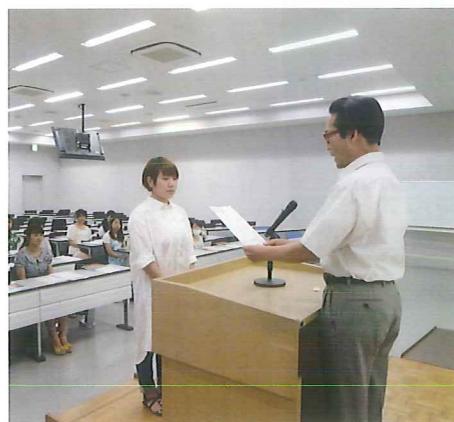


旬花報

shun
ka
ho



同窓会長
野村留美子



決意表明をする今野 若さん

13号
平成27年3月31日
発行
群馬県立女子大学
同窓会事務局

370-1193 佐波郡玉村町上之手1395-1
TEL:0270-65-8511
URL:<http://shiou-kai.com/>

群馬県観光親善学生大使

3. 事業概要

(1) 観光親善学生大使委嘱学生数

平成22年度	123名	平成21年度	96名
平成26年度	7691名	平成25年度	64名
計	65名	(1月末現在)	名

(2) 事前研修

- ①公開講座およびシンポジウムの受講
- 群馬に関する公開講座や群馬学シンポジウムを受講し、見識を深める。

(3) 上毛かるた学習会

- 上毛かるたを通して、群馬の自然、文化、歴史に親しむ。
- 英語版の上毛かるたを教材にして、群馬のPRを簡潔に英語で行う方法を身につける。

1. 概要

留学支援プログラムの支援を受けて海外留学を行う学生に対し、群馬県の観光親善学生大使を委嘱する。学生大使は留学先で群馬県の自然や生活、産業について説明し、県からの友好のメッセージを伝えることによって、将来の観光客誘致および海外と群馬県との親善のために活動する。

2. 期待される効果

- 英、米およびオセアニア方面等、英語圏の国々からの観光客誘致。
- 学生が滞在した家庭から家族が群馬を訪れるなど、事後の交流。
- 日程交渉や公式な場面でのプレゼンテーションが、学生の就職や将来設計上有益。
- 事前学習および観光親善大使としての活動は、群馬県と日本文化への理解を深める絶好の機会。
- ③プレゼンテーション英語講座
英語での効果的なプレゼンテーションの方法を身につける。
- ④群馬県観光講座
群馬県の魅力や観光地に関する講座を受講し、知識を深める。

去る平成26年7月28日、群馬県立女子大学にて、群馬県観光親善学生大使委嘱状交付式が行われました。濱口学長は、「最近の若者は内向き志向が多いと言われているが、本学は毎年大勢の学生が海外に留学するなど意欲的である。群馬の魅力を大いに発信して勉学に励んできほしい」と激励の言葉を述べました。学生を代表し、国際コミュニ

親愛なる同窓生の皆様、お変わりありませんか。同窓会は発足してから今年で17年目になります。皆様のお手元に旬花報第13号をお届けできますこと、心より嬉しく思います。今回は、群馬県観光親善学生大使についてご紹介いたします。

世界で群馬の魅力を発信する学生たち

県立女子大では平成20年から、海外留学支援制度を利用して海外に留学する学生を、群馬県観光親善学生大使に委嘱しています。近年、留学制度が充実しているためにも、自分の目で世界を見てみたい。この留学にどんな附加值があるかは無限大だと思う。」と決意を語りました。

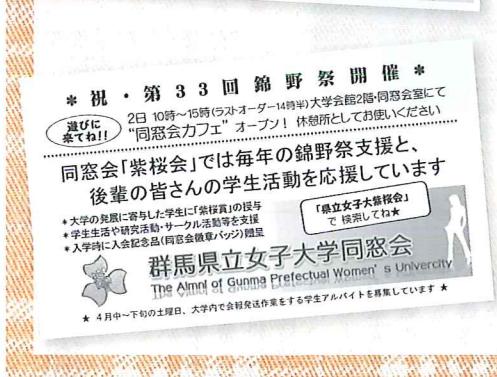
1名、ニュージーランド2名、フィンランド1名、タイ1名となっています。多くの学生たちが世界の様々な国で、語学、ボランティア、フィールドワーク、インターンシップ研修などに励みながら、群馬の魅力を伝えようと奮闘しています。

この大使の役割は国際化と地域貢献を目的とする県女生にとって大変貴重で有意義な経験となることでしょう。私たちが築立った学び舎で、後輩たちが世界に向けて羽ばたいている姿を見る。本当に頼もしい気持ちになります。彼女たちのますますの活躍を期待しつつ、これからも応援していきたいと思います。



県女はっぴを着て、群馬をPRする東美香さん
(カナダ・ECトロント校にて)

同窓会力フエ



平成26年11月1日・2日に、第33回錦野祭が盛大に開催されました。そのなかで、平成25年に引き続き、2日目の11月2日午前10時～午後に3時に同窓会カフェを出店しました。同窓会活動は、紫桜会として発足してから17年目になりました。学生に対しても多くの支援をしてきましたが、なかなかその存在は浸透していません。そこで、学生に対して、同窓会の活動を広く知つていただき目的で開催しました。

当日は、大学会館2F同窓会室を開放し、喫茶室としました。

場として利用していただきました。今年度の来場者は60名、在校生、卒業生とそのご家族、をはじめ、大学祭への来訪者に楽しんできました。同窓会役員は、学生時代にタイムスリップして、大学祭の雰囲気を楽しむことができました。

同窓会としては、今後も継続していくたいと考えております。大学祭の時期になりましたら、ぜひチエックしていただき、懐かしい友との語らいにご利用いただきたいと思います。

飲み物はコーヒー、紅茶・ハーブコーヒー、アル3種を準備し、「ぐんまちゃん」をかたどったラスクをはじめ、個包装のお菓子とともに無料で提供しました。群馬ではなかなか手に入らないハーブコーヒーは、来場された皆様から好評でした。また、同級生との再会やご家族の憩いの



「いちごの会」はバドミントン部の1～5期生の有志で構成されているOG会です。発足当初は活発に活動していたのですが、最近は活動できる機会が減少してしまいました。そのため、残った活動費を後輩の活動の支援金とすることとしました。

現在のバドミントン部は19名で活動し、初心者が中心の1年生と経験者の上級生という構成です。平成26年度の錦野祭の時に、「いちごの会」から現在の部員に支援金を手渡しました。「いちごの会」の岡崎文子さん（英文3期生）から支援金（31,448円）を受け取つ

夢を託して 後輩に

た現部長の飯塚千尋さん（国文3年）は「用具代や大会の参加費として使わせていただきたい。初心者の1年生も大会に参りたい」と語りました。岡崎さんは「後輩の役に立てればうれしい。今後も活躍を願っています」と、今後輩にエールを送っていました。

トイレがきれいに

同窓会では、毎年「卒業生の意見を聞く会」で「トイレをきれいにしてほしい」と要望していました。この度きれいなトイレに改裝されました。（写真は学生会館2Fのもの）。



平成26年度 学生活動支援金 ～アロハサークルに20万円支援しました～

ALOHA DANCE CIRCLE 部長 土屋 涼花

この度はサークルの活動支援金をいただきまして、本当にありがとうございました。ALOHA DANCE CIRCLE は現在 24 名で活動を行っており、地域のイベントを中心に様々な場所でフラを躍らせていただいております。昨年の 7 月に出場した「第 3 回カレッジフラコンペティション 2014」という大学生のフラの大会では、ソロ部門で 3 位、団体部門では 2 年連続で優勝をいただくことができました。



約 4 か月の練習期間の中で踊りのレベルアップを図ることはもちろん、曲やハワイ文化に対する理解を深め、仲間と学年を超えて絆を育んできました。練習の環境にも恵まれ、部員や先生、家族、友人、バイト先の方など、多くの方の支えのお陰で優勝することができました。本当に感謝しております。また今年度は福島県のスパリゾートハワイアンズや埼玉県の西武ドームでも踊らせていただきました。滅多にない貴重な体験は、もっと頑張ろうというこれからとの糧になりました。学生の本業は勉強ではありますが、サークル活動を通じて学生生活がより色鮮やかになったと思います。これからも感謝の気持ちを忘れずに練習に励んでいきたいと思いますので、どうぞ応援をよろしくお願い致します。

紫桜賞 社会デザイン論ゼミナール

私たち社会デザイン論ゼミナールは「社会を変える、ビジネスを創る、自分を磨く」という理念のもと、ゼミ生 6 名で日々活動しています。教室で企業経営やソーシャルビジネスに関するテキストを輪読し議論するだけでなく、東北支援のボランティアに参加したり、地域の課題に取り組んだり、様々な学外コンテストに応募するなど、教室外でも積極的に活動しています。社会デザイン論ゼミナール一期生として活動を始めて 1 年が経ちましたが、このわずかな期間に合計 5 つのビジネスコンテストに応募しました。



とりわけ初めて挑戦した「大学生観光まちづくりコンテスト 2014」が思い出深いです。山梨県の富士河口湖町及び笛吹市の両地域の活性化を図るビジネスプランを提案するという課題に対し、私たちは「祈りのランタンで富士山の噴火を阻止せよ」というタイトルの宿泊型ツアーを提案しました。惜しくも上位 10 組が出場できる本戦に進むことはできませんでしたが、本戦に次ぐポスターセッションで最優秀賞を受賞することができました。しかし、その過程では想像を絶する困難がありました。夏休みは毎日のように大学へ通い朝から晩まで内容を練ったり発表練習をしたりと、めまぐるしい日々を送っていました。その中でも特にゼミ生の記憶に残っているのは、提案内容を締切日直前に一から練り直す作業をしたことです。応募締切日 3 日前に、完成した内容を先輩たちに自信満々で発表したのですが、内容の具体性に欠けていることや今のままのパワーポイントでは上手く伝わらないという厳しい指摘を受け、内容もパワーポイントも振り出しに戻ってしまいました。期限が迫り、まさに昼夜を徹して内容の練り直しをしました。新しい資料を集めることも大変でしたが、ゼミ生各々の熱い想いを 1 つに上手くまとめることに 1 番苦労しました。最終的に、それまでにない結束力で最良のプランを提出することができました。このコンテストはその後の私たちにとってなくてはならない経験となりました。

社会デザイン論ゼミナールでの活動を通じて、多面的に物事を見ることがの重要性や皆で 1 つのことに取り組むことの難しさと楽しさを日々実感しています。このゼミに入ったことで、新しい場所に一步踏み出す勇気を持てるようになりました。私たちはこれからも、社会をよりよくするために、自分たちの持てる力を 120% 発揮して目の前の課題に全力で挑戦していきます!

吉永さんの作品

ドラマ化

特集ドラマ

『紅雲町珈琲屋こよみ』

放送予定日

2015年4月29日（水・祝）

NHK総合テレビ

午後7時30分～8時43分

主演 富司純子

出演 吉沢 悠 秋元才加

成 河 新妻聖子

平田 満 岩本多代

橋爪 功 ほか

吉永南央さん（本学 文学部美学美術史学科卒業）の作品が、今春ドラマ化され、NHKで放送されることになりました。

吉永さんは、2004年に『紅雲町のお草』で第43回オール讀物推理小説新人賞を受賞されました。『紅雲町のお草』は、経営する76歳のお草さんが、街で起きた小さな事件を解決する物語です。紅雲町というと群馬県の方は「前橋」を思い浮かべると思いますが、この物語の舞台は「高崎」がモデルです。随所隨所に高崎を彷彿とさせる情景が描かれています。

『紅雲町珈琲屋こよみ』シリーズ

	単行本	初版	文庫本	初版
1作目	紅雲町ものがたり	2008年1月	萩を揺らす雨 紅雲町珈琲屋こよみ	2011年4月
2作目	その日まで 紅雲町珈琲屋こよみ	2011年5月	その日まで 紅雲町珈琲屋こよみ	2012年11月
3作目	名もなき花の 紅雲町珈琲屋こよみ	2012年12月	名もなき花の 紅雲町珈琲屋こよみ	2014年7月
4作目	糸切り 紅雲町珈琲屋こよみ	2014年8月	—	—

*出版社は文藝春秋

既刊（『紅雲町珈琲屋こよみ』シリーズは除く）

単行本	初版	出版社
誘(いざな)う森	2008年6月	東京創元社
Fの記憶	2009年10月	角川書店
オリーブ	2010年2月	文藝春秋
アンジャーネ	2011年1月	東京創元社
RE*PAIR	2012年10月	中央公論新社

この2作品は「現代を生きる」ということを主眼に執筆されたそうです。ぜひお手にとつてお読み下さい。

タクシードライバーの千春には、正当防衛で人を殺した過去があつた。ある日、客の小学生の行方が分からなくなり、千春にも疑いが。（文藝春秋HPより）

『キツズタクシー』（文春文庫）

発売日：2015年3月10日
定価：本体610円+税



発売日：2014年12月19日
定価：本体1,600円+税

①同窓会では、大学が管理している名簿をもとに同窓生のみなさんに送付しています。
ところが、毎回相当数の封筒が宛先不明で返ってきてしまいます。「最近、同窓会から手紙が来ない」というご友人をご存知の方は、是非連絡先をご一報ください。
②皆さんの原稿をお待ちしております。
「近況を報告したい」「同窓生にこんなことを知らせたい」そんな方は、是非同窓会までご一報ください。
来年度の旬花報に掲載いたします。

吉永さんの新作紹介

『青い翅（オイハネ）』（双葉社）

編集後記

今年は私にとって、今まで生きてきたなかで一番忙しかった年でした。通常業務の他に、プラスアルファの仕事をいただき、休日出勤三昧の日々。「ああ、なんてことだ。」「余分な仕事など放り出してしまいたい。」何度もそう思つたことか分かりません。ところが、ある日娘が骨折をし、入院・手術をすることになりました。「余分な仕事」はもちろん、通常業務もままたならない状態になりました（とは言え、3日間の入院でしたが）。そうなつてみると、通常業務はもちろん「余分な仕事」もできないことに対し、いらだちを感じました。そして、知らず知らずのうちに、そのいらだちを怪我した娘にぶつけている自分がいました。娘よ、ごめん!!

娘の入院のおかげで、「いつも通り」「ふだん通り」のありがたさを知りました。旬花報のバックナンバーを見返すと、その時々の私の気持ちが随所に見受けられます。大人になって、自分自身は変わっていますが、自分の気持ちが随所に見受けられます。大人になつて、自分自身は変わつていないうでも、少しづつ進歩していたり、新たな発見をしていたりするようです。

今回は数年ぶりに吉永さんの記事を紹介します。最初に吉永さんの記事を掲載したのが、2009年3月発行の号、今から6年前になります。吉永さんがその後何冊も出版され、ドラマ化されたことは同窓会員にとっても大きな喜びでした。改めて手に取った「お草さん」。バイタリティと人情味にあふれたお草さんの活躍を読むと、とても爽やかな気持ちになります。記事の掲載を快く引き受けたいただき、感謝しております。吉永さんの、今までますますのご活躍を祈念し、お札の言葉とさせていだきます。